

2026年3月30日



## スポーツ報知×甲子園歴史館 特別企画 タイガースOB掛布雅之氏によるトークショーを 4月17日（金）に開催！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）が運営する甲子園歴史館では、スポーツ報知協力の下、4月17日（金）の阪神タイガース対中日ドラゴンズの試合前に、阪神タイガースOBで同紙の評論家である掛布雅之氏によるトークショーを開催します。

今回のトークショーは、スポーツ報知と甲子園歴史館による特別企画で、ゲストの掛布雅之氏に2025シーズンの阪神タイガースの戦いぶりや今シーズンの展望などについて、大いに語っていただきます。チケットは、3月31日（火）からオンラインで販売を開始します。

トークショーの概要は次ページのとおりです。



©報知新聞社

掛布雅之氏

## 【阪神タイガースOB掛布雅之氏によるトークショーの概要】

- 1 開催日時：4月17日（金） 16：00～17：00（予定）
- 2 ゲスト：スポーツ報知評論家  
阪神タイガースOB 掛布雅之氏
- 3 開催場所：甲子園歴史館多目的ホール（甲子園プラス3F）
- 4 参加料金：おとな4,000円、高校生3,500円、子ども（4歳～中学生）3,000円  
（いずれも税込）
  - ※ 甲子園歴史館入館料（当日1回限り）が含まれます。  
トークショーの前後いずれかでご入館ください。
  - ※ 歴史館倶楽部会員は割引があります。専用URLからご購入ください。
  - ※ 別途、システム利用料・発券手数料がかかります。
- 5 人数：156名（予定）
- 6 内容：
  - ① トークショー、質疑応答
  - ② 掛布雅之氏のサイン色紙プレゼント（参加者全員）
  - ③ 阪神タイガース現役選手のサインボールプレゼント（抽選で3名の方）
    - ※ 選手をお選びいただくことはできません。
    - ※ サイン色紙・サインボールの転売はご遠慮ください。
  - ④ 甲子園歴史館入館（当日1回限り、自由見学）
    - ※ イベント前後のいずれかにご入館が可能です。トークショーのチケットを甲子園歴史館受付（甲子園プラス2F）にご提示ください。
    - ※ 甲子園歴史館は一度出られると再入館はできません。
    - ※ 当日の甲子園歴史館の営業時間は10時～18時（最終入館17時30分）です。
- 7 購入方法：「ローソンチケット」からご購入ください。  
《ローソンチケット》 <https://l-tike.com/koshienrekishikan-0417/>  
《受付期間》3月31日（火）10：00～4月17日（金）15：59
  - ※ 購入には、ローソンWEB会員（無料）の事前登録が必要です。
  - ※ 購入は先着順です。
  - ※ オンラインでのみ購入可能です。
  - ※ 1回に2名さままで購入可能です。
  - ※ 支払方法は、クレジットカード、ローソン・ミニストップ店頭決済からお選びいただけます。
  - ※ ローソン・ミニストップ店頭決済の詳細は、下記URLをご参照ください。  
<https://l-tike.com/guide/paymentloppi.html>
  - ※ 購入後のキャンセル、払戻しはできません。
  - ※ 定員に達し次第、受付を終了します。

《ご注意》状況により、イベントを中止する場合や内容を変更する場合があります。

【掛布雅之氏のプロフィール】

1955年5月9日生まれ、千葉県出身。

習志野高校から1973年にドラフト6位で阪神タイガースに入団。高卒1年目から一軍に定着し、翌年からは三塁手のレギュラーを獲得。タイガースの主砲として、ホームラン王3回、打点王1回、ベストナイン7回、ダイヤモンドグラブ賞6回、オールスターゲームMVP3回などの成績を残すとともに、1985年には球団初となる日本一にも貢献。「ミスタータイガース」の愛称でファンに親しまれる。

1988年に現役を引退後は、野球解説者としてテレビなどで活動し、2014年には阪神タイガースのGM付育成&打撃コーディネーターに就任。2016年にファーム監督に就任。現役時代と同じ背番号31を付け、若手選手の育成やベテランの指導に尽力し、2017年オフに2年間の契約を満了。その後、オーナー付シニアエグゼクティブアドバイザー（SEA）として活動し、2019年10月、2年間の契約を満了。現在は野球評論家として、様々なメディアに出演しており、2024年11月には阪神タイガースOB会会長に就任した。2025年にエキスパート表彰で野球殿堂入りを果たした。

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上